【アーチェリーと自転車競技について】

私たちは総合的な学習の時間で、２０２０東京オリンピック・パラリンピックで行われる競技について調べてきました。その中で、ルールが難しい競技を地域の人にも知ってもらいたいと思い、HPに載せてもらうことにしました。

最初は、アーチェリーについて紹介をします。アーチェリーのことについての紹介は、道具や弓の種類についてと、選手についてです。

最初に必要な道具についてのことです。アーチェリーをするときに身につける道具は５つあります。それぞれの名前はアームガード・タブ・ボウズリング・クイ－バー・チェストガードです。弓の種類は３種類あります。１つ目はリカーブボウ、２つ目はコンパウンドボウ、３つ目はベアボウです。

次に選手について紹介します。アーチェリーの選手は年齢も力の強さも色々です。その中には、もともと学校の先生だった山本博さんという人もいて、テレビにもよく出ています。先生から選手になるところがすごいと思って紹介しました。アーチェリーの紹介を楽しんでもらえたら嬉しいです。

前に紹介したアーチェリーの次は、自転車の紹介です。

自転車は自分のコントロールや風を利用することが多いです。前に走っている自転車の後ろにつき、前の自転車を風よけとして利用すると、より少ない体力で走ることができます。そのため、集団で走る種目では、中までは先頭に立たずに２番手・３番手について、体力を温存し、ラストスパートに勝負をかけるという戦いがよく見られます。また、時には選手同士が協力し合いながら順番に先頭をつめることもあります。このような駆け引きが他の競技では見られない自転車競技の面白さの一つです。

さらにロードでは、天候や道路の状況を勝負のゆくえを大きく左右します。選手は曲がり坂が得意という選手もいます。選手によって得意な場所も違います。選手の走り方や風向きに天候の変化などを観察しながらレースを組み立てていくのです。

次は東京オリンピック・パラリンピックで自転車競技が行われる場所について紹介します。オリンピックは、「有明アーバンスポーツパーク」「伊豆ベロドローム」「伊豆MTBコース」「富士スピードウェイ」「武蔵野の森公園」の５ヵ所で、パラリンピックは、「伊豆ベロドローム」と「富士スピードウェイ」の２カ所で行われます。色々な場所で行われることがわかりました。

また、私たちは、車イスマラソンをしている金児さんと交流をして、マラソン用の車イス（レーサー）に乗せてもらいました。レーサーは前がとても軽いので、後ろに倒れそうになったり、ハンドルが重かったりして方向を変えるのがとても難しかったです。

競技の紹介はどうでしたか？アーチェリーと自転車競技に興味をもってもらえたら嬉しいです。

丸子中央小学校４年２組　競技の紹介グループ

※子ども達は、文章を完成させた後、教頭先生に添削してもらい、写真と参考図書・参考URLを載せる予定でいました。途中になってしまい、不十分な所もありますが、子ども達の思いとがんばりが多くの人に届いたなら嬉しいです。